

# 令和 3 年度 施策評価表

## 第 3 章 健康(けんこう)長寿のまち

まちづくりの目標	市民一人ひとりが、それぞれのおかれている状態の中で、心身の健康を実感しながら、地域の中で安心していきいきと暮らせるまちをめざします。
分野別計画・指針	第2次所沢市保健医療計画、所沢市新型インフルエンザ等対策行動計画、所沢市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)、『生きる』を支える所沢市行動計画～気づき、寄り添い、支え合う所沢をめざして～、第三次所沢市市民医療センター改革プラン、第2次所沢市スポーツ推進計画

第1節	健康づくり
関係所属	健康づくり支援課

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「健康づくり」 所沢市は市民が健康づくりに取り組むための支援や環境が充実している	846	33.3%	374	14.7%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	健康寿命の順位	位	5(男性) 12(女性)	3 8	8 14	× ×	1 1

### 事業目標の達成状況

基本方針	事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-1-1 主体的な健康づくりの推進	健幸(健康)マイレージ事業の参加者の1日平均歩数	歩	7,179	8,000	7,242	×	8,000
3-1-2 母子保健事業の充実	乳幼児健康診査受診率	%	94.3	97.0	93.6	×	99.0
3-1-3 食育の推進	食育に関する料理教室や講習会の開催回数	回	16	16	0	×	18
3-1-4 歯科口腔の健康保持・増進	むし歯のない3歳児の割合	%	87.3	87.6	89	○	88.0

### 節の基本方針への取り組み状況

- ◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り
  - トコトコ健幸マイレージ事業は、令和2年7月から埼玉県が実施する「コバトン健康マイレージ事業」に参入し、市民が楽しみながら歩くことで健康づくりができるよう取り組み、本市独自のポイント・景品を設定することにより、より魅力ある事業となるよう努めた。
  - トコトコ健幸マイレージの参加者募集にあたっては、広報紙で事業の特集ページを設け周知したほか、市のオリジナルパンフレット等を作成し、市内スポーツ店、スポーツジム、大型商業店舗等に掲示した。また、国民健康保険課、保健センターや各まちづくりセンターで歩数計申込書の受付を行い、市で取りまとめてマイレージ事務局へ送付するなど申し込みやすくしたことで参加者数を増やすことができた。(目標参加人数:10,000人、R3.3月末参加者数:6,663人)
  - 母子保健事業は、子育て世代包括支援センターからがもを中心に妊娠期からの切れ目のない支援を実施した。また、地区担当制による保健活動を通じて市内各地区の健康課題を把握し、関係機関や市民団体との連携により協力を得ながら事業を実施するなど、地区特性に応じた地区活動を実施した。
  - 4か月児健康診査は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により集団健診の実施が難しくなったため、令和2年6月から市内協力医療機関での個別健診に切替えて実施した。
  - むし歯のない3歳児は目標値に達しているが、前年度と比較し増加がみられた。コロナ禍での外出自粛による不規則な生活が要因と考えられるため、年度末にむし歯予防の健康教育動画を作成し、令和3年度から活用を始めた。
- ◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
  - 健幸(健康)マイレージ事業の参加者の1日平均歩数については、新型コロナウイルス感染症の影響で外出を自粛する参加者が増え、歩数が伸びなかったと考える。
  - 乳幼児健康診査については、新型コロナウイルス感染症の影響で受診を控える方が増え、受診率が低下したと考える。
  - 食育に関する料理教室及び講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止し開催できなかった。

**今後の方向性**

**◆「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容**

○新型コロナウイルスの感染が拡大する中、県外に帰省しての「里帰り出産」を拒まれるなど、多くの妊婦が不安を抱えている。また、新しい生活様式を実践する中での生活不安や育児不安等によるストレスから、児童虐待やDV被害等が懸念されるため、乳幼児や保護者の状況を把握し、適切な支援に繋げるとともに、保護者の不安を軽減できるよう、様々な子育て等に関する情報提供を実施していく。

○新型コロナウイルス感染症の影響で地域の交流の機会が減少しているが、新たな健康課題を確認し、引き続き、状況に適した地区保健活動の取り組みを進める。

○むし歯予防のために作成した健康教育動画を配信し、1歳6か月児健診時に保護者に周知する等、幼児のむし歯予防に取り組む。

**◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容**

○健幸(健康)マイレージ事業の1日平均歩数については、感染防止策を実施しながら歩くことを推奨し、歩数の増加に努めるとともに、外出自粛の長期化による運動不足で体力・身体機能の低下が懸念されることから、簡単なストレッチや筋力トレーニングの動画を市のホームページに掲載し、それぞれの身体の状態に合わせた健康づくりを支援していく。

○4か月児健康診査は、引き続き市内協力医療機関での個別健診で実施していく。

○1歳6か月児及び3歳児健康診査は、3密回避や会場内の消毒を徹底するなど感染防止対策を講じた上で、集団健診で実施していく。

○食育の推進は、3密回避や会場内の消毒を徹底するなど感染防止対策を講じた上で事業を実施していく。

**SDGsへの貢献**

1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを
レ 3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公平をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	レ 17 パートナーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう	

評価日	R.3.7.7	記入者職氏名	健康推進部保健センター長 越智 三奈子
-----	---------	--------	---------------------

第2節	早期発見・疾病予防							
関係所属	健康管理課、健康づくり支援課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人		満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度			
「早期発見・疾病予防」 所沢市は検診や予防接種など、病気を発見・予防する取組が充実している		1,101	43.4%	413	16.3%			
評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値	
	大腸がん検診の受診率	%	7.9	8.2	7.5	×	8.6	
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-2-1	予防接種・感染症の情報提供	二種混合予防接種の接種率	%	77	80	82	○	84
3-2-2	生活習慣病予防の普及啓発	予約制健康相談(健康・栄養・歯科・リハビリ)の相談者数	人	174	185	87	×	200
3-2-3	がん検診の普及啓発	がん検診の受診者数	人	40,170	43,000	32,767	×	47,000
3-2-4	精神疾患対策と自殺防止対策	こころの健康講座等の参加者数	人	3,246	3,300	2,898	×	3,400
3-2-4	精神疾患対策と自殺防止対策	思春期こころの健康相談の相談者数	人	28	30	30	○	32
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○10月からロタウイルスワクチンの接種が定期接種化され、本市においても滞りなく開始した。</p> <p>○BCG集団接種は、新型コロナウイルス感染症による影響により中止し、個別接種での実施とした。</p> <p>○高齢者インフルエンザ予防接種については、新型コロナウイルス感染症と区別がつきにくいことから多くの対象者が接種するよう自己負担額を無料とした。</p> <p>○風しんの抗体保有率が低い昭和37年4月2日から昭和54年4月1日に生まれの男性に対し抗体検査及び風しんの定期接種を行った。</p> <p>○予約制健康相談は感染防止対策を講じて実施した。また、コロナ禍での健康増進、感染防止について、市ホームページやテレビ放映(JCOM)を通じて周知啓発を実施した。</p> <p>○がん検診は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、関係機関と調整を図ったうえで7月から実施した。また、骨粗しょう症検診及び成人歯科検診は、関係機関と協議の上、中止した。</p> <p>○精神疾患対策及び自殺防止対策として、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、5月から「こころの健康ダイヤル」を開始した。また、10月と1月に自殺防止に関する情報「はあとぼっと」を配信した。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○予約制健康相談は、不要不急の外出制限が要請されたことで、保健センターに出向いての相談を控える方が多かったと考えられる。</p> <p>○がん検診は、新型コロナウイルス感染症の影響により開始時期を遅らせ、個別検診は7月、集団検診は8月から実施したため、受診者が前年度より減少した。</p> <p>○こころの健康講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため講座の一部を中止したことにより参加者数が減少した。</p>								
今後の方向性								
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○新型コロナウイルスワクチン接種は、ワクチン供給と接種スケジュールを調整し、接種体制等を整備しながら、安心・安全で迅速な接種を行う。</p> <p>○感染症の予防と自粛による健康被害を防ぐために、バランスの良い食事・適度な運動・規則正しい生活による健康づくりを進める。また、健康被害防止についても周知啓発を行っていく。</p> <p>○がん検診の普及啓発を進め、受診者の増加に努める。</p> <p>○風しん抗体検査及び予防接種は、今年度までの時限措置であるため、普及啓発を進めることで実施者数の増加に努める。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○大腸がん検診は、40歳から10歳刻みでの勧奨を行い、申込状況を踏まえ勧奨方法を検討していく。</p> <p>○感染防止対策を講じ、自粛による心身の健康被害防止の視点を持ちながら、適切な相談対応に努め、相談を必要とする方に情報が届くよう、関係機関や関係団体等の協力を得ながら周知啓発を図っていく。</p>								

SDGsへの貢献			
	1 貧困をなくそう	レ	10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに	レ	11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
レ	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	レ	16 平和と公平をすべての人に
レ	8 働きがいも経済成長も	レ	17 パートナーシップで目標を達成しよう
	9 産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R.3.7.7	記入者職氏名	健康推進部保健センター長 越智 三奈子

第3節	地域医療							
関係所属	保健医療課、市民医療センター							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人		満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度			
「地域医療」 体調を崩したときに身近に受診できる医療機関がある		1,504	59.3%	574	22.6%			
評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値	
	所沢地区病院群輪番制病院の実施	%	実施	現状維持	実施	○	現状維持	
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-3-1	救急医療の充実	在宅当番医制の実施状況	-	実施	現状維持	実施	○	現状維持
3-3-2	地域医療の充実	所沢市歯科診療所あおぞらの障害児者の診療実績	人	821	850	580	×	850
3-3-3	市民医療センターの運営	地域包括ケア病床の利用率	%	-	81	61	×	90
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○所沢地区病院群輪番制事業は、新型コロナウイルス感染症の集団感染により、参加の中止を余儀なくされた医療機関があったが、所沢市医師会と連携して、救急搬送患者を他の参加医療機関で受け入れられるよう調整し事業を継続した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中でも、所沢市医師会と連携して在宅当番医制事業を実施し、祝休日及び年末年始の初期救急体制を確保した。また、歯科診療所あおぞらでの休日緊急歯科診療についても、感染症対策を徹底し継続的に実施した。</p> <p>○市民医療センターは、市民が安心して受診、治療、療養ができるよう、発熱外来の実施や院内のゾーニング等の感染防止対策の強化を行った。また、スタンダードプリコーションを遵守しながら看護ケアを行った。</p> <p>○市民医療センターは、後方支援医療機関としての役割を果たすため、院内の施設設備の整備や人的体制の調整に努めた。</p>								
<p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○歯科診療所あおぞらは、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、緊急事態宣言が発令された期間(R2.4.16～R2.5.31)の在宅要介護高齢者歯科診療および障害児者歯科診療を休診した。また、診療再開後に患者間の接触を減らしたり、消毒等の対策を徹底するため診療間隔を長くしたことにより、受診者数が減少し目標値に達しなかった。</p> <p>○市民医療センターの入院受け入れに際し、新型コロナウイルス感染症対策として一定期間の個室利用を行うなど、受け入れ件数が制限されたため、地域ケア病床の利用率が伸びなかった。</p>								
今後の方向性								
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○救急医療、地域医療を安定的に提供するため、今後も県や保健所、所沢市医師会と連携し、所沢地区病院群輪番制事業や在宅当番医制事業等の充実に努めていく。</p> <p>○歯科診療所あおぞらの診療にあたっては、今後も新型コロナウイルス感染症対策を徹底していく。</p> <p>○市民医療センターと市内医療機関等との連携体制を継続し、小児初期救急医療体制の維持と安定的な運営に引き続き努める。</p> <p>○急性期を脱し、病状が安定した患者の在宅復帰に向けて、市民医療センターのリハビリテーション機能の更なる充実に努める。</p>								
<p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○歯科診療所あおぞらにおける障害児者の診療について、利用者が診療情報等を得やすいよう所沢市歯科医師会と協力しパンフレットやHPにより情報提供に努めていく。</p> <p>○地域包括ケア病床については、感染症対策を進めながら安定した受け入れ態勢や病床管理等の調整を図るとともに、市民医療センターの診療内容についての周知に努め、地域の医療・介護・福祉との連携を深める。</p>								

SDGsへの貢献			
1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう
2	飢餓をゼロに	11	住み続けられるまちづくりを
レ 3	すべての人に健康と福祉を	12	つくる責任 つかう責任
4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさを守ろう
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16	平和と公平をすべての人に
8	働きがいも経済成長も	レ 17	パートナーシップで目標を達成しよう
9	産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R.3.7.7	記入者職氏名	健康推進部次長 市川 勝也 市民医療センター事務部総務担当参事 中村 まさみ

第4節	医療保険・医療情報							
関係所属	国民健康保険課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度		
「医療保険・医療情報」 所沢市から医療に関して必要な保険サービスが提供されている			883	34.8%	441	17.4%		
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H28)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	特定健康診査の受診率		%	39	50	38.2%(R元)	×	60
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-4-1	保険給付の適正化	第三者行為求償件数	件	45	45	40	×	45
3-4-2	特定健康診査等の充実	30歳代の被保険者の健康診査受診率	%	9.7	14.0	10.7	×	20.0
3-4-3	生活習慣病重症化予防の対策	人工透析の新規移行者数	人	35	35	54	×	35
3-4-4	ジェネリック医薬品の利用促進	ジェネリック医薬品の数量シェア	%	71.9	80.0	79.0	×	80.0
3-4-5	後期高齢者医療制度の充実	後期高齢者健康診査の受診者数	人	13,125	14,700	15,306	○	16,900
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保険給付の適正化のため第三者行為求償事務の適切な処理に努めた。</li> <li>○医療費適正化のため、生活習慣病重症化予防対策事業及びジェネリック医薬品の数量シェア向上に引き続き取り組んだ。</li> <li>○他市のポリファーマシー事業を参考に、多剤及び重複服薬により有害事象が疑われる対象者に服薬適正化事業を実施した。</li> <li>○後期高齢者の健康診査の実施について、対象者に受診券を個別送付したほか、新聞折込チラシの作成やケーブルTVでの放映により周知の機会を増やし、受診者数の増加を図った。</li> </ul> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第三者行為求償事務については、被保険者数の減少から総数も減少傾向にあることが要因と考えられる。</li> <li>○特定健康診査等は、30歳代は健康に対して意識が低いため受診に結び付いていないことが要因として考えられる。また、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えの傾向もみられる。</li> <li>○人工透析の新規移行者数については、全国的に増加傾向にあり現代病として問題視されている。</li> <li>○ジェネリック医薬品の数量シェアについては、ある程度普及が進んでいるため進捗は鈍化傾向にある。</li> </ul>								
今後の方向性								
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国民健康保険の健全な運営のために、医療費通知をはじめとした被保険者への周知等により健康への関心を深め適正な保険給付が行えるよう努める。</li> <li>○特定健康診査等の受診率向上に向け、医師会との連携を図り、引き続き普及啓発を実施していく。</li> <li>○保健事業と介護予防事業の一体的実施では、医療専門職の戸別訪問や高齢者の通いの場等への派遣を行う。また、実施にあたっては広域連合と連携を図りながら取り組む。</li> </ul> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健康診査等の受診率については、若年層も意識した普及啓発を実施していく。</li> <li>○人工透析の新規移行者数については、県の糖尿病性腎症重症化予防対策事業に引き続き参加し、削減に努めていく。</li> <li>○ジェネリック医薬品の数量シェアについては、引き続き普及啓発に取り組む。</li> </ul>								

SDGsへの貢献			
1	貧困をなくそう	レ	10 人や国の不平等をなくそう
2	飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任
4	質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
5	ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
6	安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公平をすべての人に
8	働きがいも経済成長も	レ	17 パートナーシップで目標を達成しよう
9	産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R.3.7.7	記入者職氏名	健康推進部次長 市川 勝也



第5節	スポーツ推進	
関係所属	スポーツ振興課	

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「スポーツ推進」 所沢市はスポーツ活動やスポーツに触れる機会が充実している	650	25.6%	233	9.2%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	スポーツを楽しんでいる市民の割合	%	47.6	49.0	45.3	×	51.0

事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-5-1	スポーツ活動を通じた健康・体力づくりの推進	週1回以上スポーツを実施する成人の割合	%	38.2	44.0	59.2	○	52.0
3-5-2	競技会場の確保や交流機会の充実	ところざわほっとメールにおける「スポーツ情報」の利用登録者数	人	4,554	5,400	6,506	○	6,600
3-5-3	スポーツ活動の支援と環境整備	スポーツ・レクリエーション施設利用者数	人	858,492	860,000	447,081	×	862,000
3-5-4	スポーツに触れる機会の充実	市ホームページ等のスポーツ情報発信数	回	213	255	274.0	○	315

節の基本方針への取り組み状況								
◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り								
○外出自粛が長引く中、自宅で気軽にスポーツに楽しめるよう、家族で楽しめるダンスや筋力トレーニング、児童生徒体力向上を目的とした8級から1級までの縄跳び検定などの動画をYouTubeで配信したところ、動画再生回数約11万回(令和2年度末)と好評を得ている。								
○北中運動場のトイレ改修事業の費用の一部にスポーツ振興くじ助成金を利用し、内部、出入口、トイレ等をユニバーサルデザインにリニューアルするなど施設の整備を行った。								
◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析								
○国の緊急事態宣言を受け、屋内外の施設を休館した期間があり、その後も感染防止拡大の観点から開館時間の短縮や利用人数の制限を行った。また、市民体育館サブアリーナおよび、地区体育館(富岡、三ヶ島、柳瀬)の床改修工事に伴う休館期間があり、施設利用者数、スポーツを楽しんでいる市民の割合が減少した。								

今後の方向性								
◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容								
○各種スポーツ大会や教室等を充実させ、ライフステージに応じたスポーツ活動が気軽に楽しめる環境づくりを進める。								
○各スポーツ施設の経年劣化に伴い、計画的な修繕を行い施設環境の充実を図る。								
◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容								
○新型コロナウイルスワクチンの接種が進み、新型コロナウイルス感染症が収束に向かうことを見据えて、利用者の方が安心・安全にスポーツを楽しめるよう環境整備に努め、体育施設の周知に努めて行く。								

SDGsへの貢献			
	1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
レ	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公平をすべての人に
	8 働きがいも経済成長も		17 パートナーシップで目標を達成しよう
	9 産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R.3.7.7	記入者職氏名	教育総務部次長 市川 雅美